３学年　進路通信 ９月号

「３週連続の模試を、本番の力に変える１か月」

発行日：
2026 年９月１６日
進路指導部

【１０月は「模試月間」―　３週続けて、本番と同じ緊張の中で】

- １０月は４日・１０日・１８日と、３週続けて模試が並びます。記述→記述→マークと形式も切り替わる、１年でいちばん密度の濃い１か月です。
- 大切なのは「３回受けたこと」ではなく、「３回分の課題を、１１月１５日の全統プレ共通テスト模試までにつぶしたこと」です。
- この号では、模試を**「受ける前」「受験当日」「受けた後」**の３つに分けて、やることを整理しました。そのとおりに動けば、１１月・１２月の判定は必ず変わります。

■　秋の模試　日程一覧（再掲）

実施日	模試名	形式	申込締切（めやす）
10 月 4 日（日）	第３回　全統記述模試	記述・論述式	9 月 25 日（金）15:00
10 月 10 日（土）	ベネッセ 10 月記述模試	記述・論述式	9 月 14 日（月）17:00 ※受付終了
10 月 18 日（日）	第３回　全統共通テスト模試	マーク式	10 月 9 日（金）15:00
11 月 15 日（日）	全統プレ共通テスト模試	マーク式（本番と同じ時間割）	11 月 6 日（金）15:00

※　河合塾の締切は実施日の９日前 15:00 が原則です（９日前が土日祝の場合は直前の平日 15:00）。**締切後は一切申し込めません。**申込は河合塾 PORTAL（教室掲示の QR コード）から。

【ＡＣＴＩＯＮ①　受ける前に　―　「準備したぶんだけ返ってくる」】

- **１　申込と会場を確定する（１週間前まで）**　全統共通テスト模試（１０月１８日）の締切は**１０月９日（金）15:00** です。外部会場は定員に達すると締め切られます。会場・時間割は PORTAL の「模試受験」から必ず印刷・保存しておきましょう。
- **２　志望校を正直に登録する（実施日まで可）**　「今の第一志望」をそのまま登録します。判定は出願校を決める材料です。安全側に下げて登録しても、得られる情報は減るだけです。
- **３　国公立志望は「ドッキング判定」をねらう**　記述模試（１０月４日）とマーク模試（１０月１８日）を**両方受けると総合判定**が出ます。必ずセットで受験しましょう。
- **４　出題範囲を確認する（３日前まで）**　数学の選択科目、理科・地歴公民の範囲を確認し、「今回出るところ」から優先して復習します。範囲全体をやろうとしないこと。
- **５　前回模試の「間違い直しノート」を見返す（前日）**　新しい問題集を開くより、前回落とした問題を１周するほうが点になります。
- **６　持ち物と経路を前日までにそろえる**　本人確認書類・筆記用具・時計・スマートフォン（受験番号や解答用紙番号の確認に使用）。外部会場の人は交通手段と所要時間も確認を。
- **７　行事・部活・検定と重なる人は早めに担任へ相談**　後からの変更はできません。

【ＡＣＴＩＯＮ②　受験当日　―　模試は「入試本番のリハーサル」】

- **１　本番と同じ時間に起きる**　共通テストは朝９時半開始です。当日だけ早起きしても頭は働きません。模試の日を「本番の生活リズム」の練習に使いましょう。
- **２　解く順番と時間配分を決めてから始める**　１問に何分かけるかを最初に決め、**時計を机に置いて**その通りに進めます。時間配分の練習ができるのは模試だけです。
- **３　「捨てる勇気」を試す**　詰まったら印をつけて次へ。全問解ききることより、解ける問題を確実に取りきることが本番の得点力です。
- **４　問題冊子に自分の答えを必ず書き残す**　これをしないと自己採点ができません。マーク式は**解答番号をそのまま転記**しておきましょう。
- **５　１科目終わったら、その科目のことは忘れる**　休み時間に答え合わせをしない。次の科目の暗記事項だけを見ます。
- **６　最後まで席を立たない**　見直しの時間の使い方も練習のうちです。途中退出は本番ではできません。

【ＡＣＴＩＯＮ③　受けた後に　―　「受けっぱなし」がいちばんもったいない】

- **１　自己採点は当日中に**　解答は当日中に公開されます。**その日のうちに**採点し、点数を記録しましょう。記憶が新しいうちでないと「なぜ間違えたか」が思い出せません。
- **２　間違いを３種類に仕分ける**　①**知らなかった**（覚え直す）②**わかっていたのにミス**（次回の注意点として１行メモ）③**時間が足りなかった**（時間配分を修正）。原因によって次の一手が変わります。
- **３　解き直しはその週のうちに**　①と③は必ず解き直す。「解答を読んで納得した」は復習ではありません。何も見ずにもう一度解けて初めて完了です。
- **４　次の模試までの課題を「３つだけ」決める**　１０月４日→１０日→１８日は、間が１週間しかありません。欲張らず、３つに絞って次の模試にぶつけましょう。
- **５　返却された成績表は、判定より「設問別成績」を見る**　Ａ～Ｅの判定は結果にすぎません。伸ばせるのは、どの分野で落としたかという中身のほうです。
- **６　判定の読み方**　この時期のＤ・Ｅ判定は「もう無理」という意味ではありません。ただし**１１月１５日の全統プレ共通テスト模試**の結果は、出願校を決める最も重要な資料になります。１０月の３回は、そこに向けた修正のための材料です。
- **７　気になることがあれば、早めに担任・進路指導部へ**　成績表を持ってくれば、より具体的な話ができます。

【面接指導について（再掲）】

- 学年指導（９月中旬）のあと、**「模擬面接依頼書　＋　志望理由書のコピー　＋　質問内容がわかる資料」**を持って、希望する先生に直接お願いしましょう。
- 先生方にも予定があります。**面接日の２週間前まで**を目安に、余裕をもって依頼してください。
- 志望理由書は、マッチング教員と担任の確認を受けてから清書しましょう。
- 調査書は発行に日数がかかります（原則２週間前まで）。直前の申請はできません。

１０月の３回は、点数を競う場ではなく、**本番までに直すところを見つけるための場**です。受ける前の準備、当日の時間の使い方、終わったあとの解き直し　―　この３つを回せた人から、１１月・１２月に伸びていきます。まずは目の前の１０月４日に向けて、今日できることから始めましょう。